

22-1高分子と水・分離に関する研究会

2022年度界面動電現象研究会

主題 =生物、生体分子の凝集現象（意味と特徴）=

＜趣旨＞ 高分子と水・分離に関する研究会ではこれまでコロイドの凝集分散現象、並びにそれと深い関係にある界面動電現象に関する議論を深めてきました。これまでの争点の一つは電気二重層の形成に伴う凝集分散現象の解釈に集約されます。一方、生物生命系の特徴は分子同士の相互作用が海水のような高いイオン強度下で行われるため、電気二重層の重なりによる反発力は考える必要がなくなるものの、関連する現象が凝集分散現象として処理される問題が多数見受けられます。しからば、生体が関与するような高イオン強度下の問題をどのような視点でとらえるべきなのか、また、その意味や特徴、さらには思考の枠組みとしての類似点や相違点は一体どうなっているのでしょうか。今年度はこの問題について基本的な議論を深めたいと思います。

主催 高分子学会 高分子と水・分離に関する研究会

共催 界面動電現象研究会

協賛 (予定) 応用物理学会 化学工学会 色材協会 繊維学会 日本繊維機械学会 電気化学会 土壤物理学会 日本化学会 日本化学会コロイドおよび界面化学部会 日本食品科学工学会 日本農芸化学会 日本分析化学会 日本水環境学会 日本薬学会 日本油化学会 日本レオロジー学会 筑波大学生物資源コロイド工学リサーチユニット 他

日時 令和5年3月3日(金) 9:50 ~17:40

会場 オンライン開催 (Zoom)

プログラム

- ＜9:50~10:00＞ 開会挨拶 (界面動電現象研究会) 足立 泰久
- ＜10:00~11:30＞ 1) タンパク質の凝集と相分離の現象と身近な産業応用 (筑波大学) 白木 賢太郎
- ＜13:00~14:00＞ 2) 海洋における微生物の関わる凝集現象とその意義 (東京大学 大気海洋研究所) 永田 俊
- ＜14:10~15:10＞ 3) 高分子科学から見る生物学的相分離 (九州大学) 岸村 顕広
- ＜15:20~16:20＞ 4) アミロイドの凝集：開放系と相分離系の作用 (山形大学) 並河 英紀
- ＜16:30~17:30＞ 5) 朝倉一大澤理論 vs DLVO 理論 (東理大) 大島 広行
- ＜17:30~17:40＞ 総括、 界面動電現象研究会からのお知らせ
閉会挨拶 (高分子と水・分離に関する研究会) 清野 竜太郎

参加要領

- 1) 定員 80名
- 2) 参加費(税込) 企業 11,000円 大学・官公庁 5,500円 学生 2,200円
名誉会員・終身会員・フェロー・ゴールド会員・シニア会員 2,200円
高分子と水・分離に関する研究会メンバー 無料
- 3) 申込方法 高分子学会行事申込サイト <https://member.spsj.or.jp/event/>にてお申込ののち、参加費を2月28日までに振込ください。
- 4) 振込先 銀行振込<三菱UFJ銀行銀座支店(普通)1126232 公益社団法人 高分子学会>
郵便振替<00110-6-111688 公益社団法人 高分子学会>
※振込手数料は振込人にてご負担くださいますようお願いいたします。
- 5) 受付 手続きが完了したら受理通知メールを送ります。また、追って要旨集とzoom codeを送ります。

※プログラムは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

問い合わせ先

高分子学会 21-1 高分子と水・分離に関する研究会係
〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F
電話 03-5540-3771 FAX 03-5540-3737